



毎月5日はいすみ市「市民防災の日」

津波からの避難！！



津波から避難する6つのポイント

①小さな揺れでも油断禁物

小さな揺れであっても、長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は、できるだけ高く安全な場所に避難しましょう。

②津波緊急避難場所を覚えておく

避難する時は、「津波がくるぞ 早く逃げろ！」と大声を上げて逃げましょう。

人は誰かが逃げるとつられて逃げるものです。あなたの声が津波警報になることもあります。

③津波警報がでたら即逃げよう

津波はスピードが速いので、警報が発表された時は、急いで逃げましょう。

④海岸や河川には近づかない

注意報でも、釣り等は危険なので、「より遠くへ」「より高台へ」避難しましょう。

⑤忘れ物は取りに戻らない

津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報解除まで気をゆるめないようにしましょう。

⑥正しい情報を聞く

正しい情報を防災行政無線やテレビ・ラジオ・広報車などを通じて入手しましょう。



《津波警報・注意報の分類》

| 種類 | 予想される津波の高さ | | 想定される被害と取るべき行動 |
|-------|------------|---------|---|
| | 数値での発表基準 | 巨大地震の表現 | |
| 大津波警報 | 10m超 | 巨大 | 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる恐れがあります。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難しましょう。 |
| | 10m | | |
| | 5m | | |
| 津波警報 | 3m | 高い | 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する恐れがあります。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難しましょう。 |
| 津波注意報 | 1m | (表記しない) | 海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだ等は流出し小型船舶が転覆する恐れがあります。 すぐに海岸から離れましょう。 |

●マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、最大級の津波を想定して、大津波警報については「巨大」、津波警報については、「高い」という言葉で発表します。

●正確な地震の規模が分かった場合、予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します。

●津波は何度でも繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が高くなることがあるので、警報が発表されている間は、津波の高さを数値で表さずに「観測中」と発表する場合があります。

津波緊急避難場所を確認してみよう！

大きな地震が起きたら、大きな津波がやってきます。今いる所から早く、海から遠くへ、より高い所（津波緊急避難場所等）に避難しましょう。

いすみ市内には、津波緊急避難場所が101ヶ所設定されています。市で発行している「津波ハザードマップ」、看板を活用し確認しましょう。

市では、気象警報などを、防災無線や「いすみ市防災メール」で、市民のみなさんにいち早くお知らせし、注意を呼びかけます。これらの情報を得たら、出来るだけ安全な場所へ避難しましょう。

「ゆれたらにげる より遠くへ より高台へ」

問い合わせ
いすみ市役所 危機管理課
Tel. 62-2000

防災無線受信機の電池が切れていませんか？



この受信機は電池が交換時期になると、電池交換のお知らせをする機能がついています。

単1の乾電池で約1年(コンセントに挿している状態)で交換となります。

電池交換の手順



電源のランプが赤と緑に点滅

本体の正面にあるフタを横にずらし、開ける。



1

2

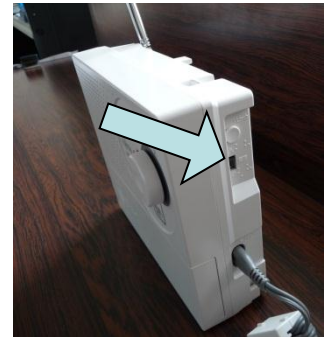
3

4



電池を交換してフタを閉める。

本体の側面にある電源スイッチを一旦切り、再度入れる。



ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。